



陶芸家・河村蜻山の作品6点が寄贈

我孫子で作陶した陶芸家・河村蜻山の作品6点が、市内の新保家から寄贈されます。新保家のご家族が、国際的ジャーナリスト・杉村楚人冠が主宰した俳句結社「湖畔吟社」の同人であり、同会に蜻山が参加していたことから、蜻山の作品を長年大切に保管されていましたが、「我孫子の文化を高めた河村蜻山をより多くの人に知ってほしい」との想いで寄贈に至りました。作品は、今後、杉村楚人冠記念館などの企画展で展示します。

寄贈式

日 時：令和3年11月19日（金）午前11時30分～正午

場 所：我孫子市役所本庁舎2階 市長応接室

出席者：新保享（しんぽすすむ）氏、星野順一郎市長、丸智彦教育長

作品目録（陶芸作品5点、絵画作品1点）

陶芸作品1：帯留め 赤絵

陶芸作品2：花瓶 立筋文

陶芸作品3：茶碗 赤絵

陶芸作品4：花瓶 赤絵 付 表彰状、目録

陶芸作品5：置物 鳩

絵画作品1：画 白菜

河村蜻山（かわむらせいざん） 明治23年8月1日～昭和42年8月1日。大正から昭和にかけて活躍した京都出身の陶芸家。陶器が生活に密着した道具とされていた時代、美術作品“陶芸”としての地位を確立させるため、活動した美術陶芸家の一人。

かつて柳宗悦が住んだ三樹荘（緑1丁目、現：個人所有）に、昭和13年～29年の16年間居住し、「深草窯」を築いた。しかし、物資不足に日本中が困難を極めていた時代であり、窯焚き用の松割木などが入手できず、作陶もままならなかった。そのため、手賀沼周辺のスケッチを行うなど、陶芸活動以外の美術活動も行った。

我孫子に住む人々との交流もあり、我孫子尋常小学校（現：我孫子第一小学校）で楽焼の指導や、湖畔吟社に参加し、地元の若者たちとも交流した。

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会 生涯学習部
文化・スポーツ課 担当：今野
☎ 04-7185-1583

「花瓶 赤絵」正面



底



昭和22年、我孫子町から新保家に送られた蜻山の作品です。目録及び表彰状も併せて寄贈されました。

「置物（鳩）」



箱フタ（表）



箱フタ（裏）



箱裏書



湖畔吟社では、句会「観月会」の際、最優秀作品に「楚人冠賞」と「蜻山賞」が贈られていました。箱の裏書に「昭和29年度」とあることから、楚人冠亡き後（昭和20年没）も湖畔吟社の活動は続き、蜻山は自らの作品を賞品としていたことが分かります。なお、蜻山は昭和29年に鎌倉に窯を移したため、我孫子在住の最後の句会と考えられます。